



松浦武四郎筆「豆遊日誌」より嘉永7年(1854)【伊豆下田で黒船ミンシッピ号に乗り平面図を記す】

幕末期の日本は、鎖国から開国へと動き出す歴史の一大転換期でした。開国と通商を求めて諸外国が相次いで来航する中で、国を守るために幕府中心の政治から天皇中心の政治に戻し、一致団結して外国を追い払う「尊王攘夷」の思想に多くの志士たちが影響を受けました。

その中で松浦武四郎は、ロシア外交の最前線にあたる蝦夷地(北海道)を踏査し、その様子を志士たちに伝え、情報ネットワークを築きます。

この展示では、武四郎が志士たちと交流し、自らも志士として活動した姿を紹介します。

背景:田崎草雲筆 陳化成図・鈴木鷺湖筆 劉国表図 いずれも嘉永4年(1851)

幕末を 生きた武四郎

松浦武四郎記念館 企画展示



松浦武四郎筆「奥地行自入用品申上書」安政3年(1856)【北蝦夷地(サハリン)中部に伊勢神宮、熱田神宮の勧請を計画】



松浦佐七・源次郎宛 松浦武四郎書簡 嘉永4年(1851)6月18日付 【大砲の玉が飛び交い煙に包まれる中で死ぬ覚悟です】



松浦武四郎著「竹島雑誌」明治3年(1870)【竹島(現在の鬱陵島)の地理を紹介】



坂本鼎高宛 吉田松陰書簡 嘉永6年(1853)9月5日付(部分)【松浦武四郎という奇人にお考えをお聞かせください】

自由研究を応援します!

記念館・誕生地の写真撮り放題!
在席する学芸員に質問し放題!
記念館ホールに
参考図書を用意。
※必要なコピーはお一人10枚まで無料。



8月4日(火)~9日(日)限定
松浦武四郎誕生地を描こう!

画用紙をお一人2枚まで提供!
※絵を描く道具とお茶などをご持参ください。
※18歳以下は誕生地が入館無料です。

小中学生応援企画

夏休みは
松浦武四郎記念館
に行こう!

開催期間:7月18日(土)~8月30日(日)

謎解きクイズラリー
たけちゃんからの挑戦状!

記念館の展示室内で
クイズを探して答えると、
正解者全員に
記念品プレゼント!



武四郎
講座

毎月第2日曜日
午前10時~
好評開催中!

会場 当館
多目的室

定員 60名

申込方法 申込不要
先着順に受付

参加費 110円
(資料代)

※入館料をお支払いの方は無料。

武四郎の
江戸での生活その2
講師:世古 詩央里 (当館 学芸員)

第208回
7月12日(日)
午前10時~11時

武四郎の
第1回蝦夷地調査報告書
「初航蝦夷日誌」を読む
講師:佐藤 圭祐 (当館 学芸員)

第209回
8月9日(日)
午前10時~11時

展示担当学芸員による
展示解説

日時 7月12日(日)・8月9日(日)
いずれも11時~12時

場所 企画展示室
※予約不要、入館料のみで参加可。

武四郎まつりマスコットキャラクター
たけちゃん



ご利用案内

- 開館時間** 午前9時00分から午後4時30分まで
- 休館日** 毎週月曜日・8月12日(水)
7月20日(月・祝)は開館して翌7月21日(火)は休館。
- 入館料** 19歳以上…360円【230円】/6歳以上18歳以下…230円【120円】
就学前の子どもは無料、お得な年間バスポートあり。
※松浦武四郎誕生地は18歳以下無料 ※【】内は20名以上の団体料金。



交通案内

<電車・バス>
近鉄
【伊勢中川駅東口】からタクシーで約7分
三雲地域コミュニティバス「たけちゃんハートバス」(9人乗り)を運行
伊勢川川
バス停【松浦武四郎記念館】下車すぐ。

JR・近鉄
・【津駅前(東口)】から三交バス「天白」行き、バス停【小野江】下車
国道23号 小野江町交差点を西へ徒歩約13分

<お車で>
※無料駐車場完備(乗用車50台まで駐車可能)。
・伊勢自動車道
【久居IC】・【一志郷野IC】から車で各15分
国道23号
【小野江町交差点】を西へ約1km
・中勢バイパス(国道23号)
【嬉野新屋庄ランプ】から車で3分